



環境・社会貢献への取り組み

コープながのの取り組みは、生協の事業だけにとどまりません。「地球環境を考え、守り、共生できる循環型社会」を目指し、「行政をはじめとする各種団体との協同」により地域社会全体に貢献する、「災害に見舞われた地域や方々に助け合いの精神で物心両面からの支援」を行う…など、組合員の協力のもとに、これからもさまざまな活動を続けていきます。



▲コープデリグループ
「サステナビリティ」サイト

事業者としての省エネとCO²削減に取り組んでいます

コープの施設の屋上に太陽パネルを設置し、発電した電気を利用しています。また、再生可能エネルギーで発電された電気の利用を広げるため、組合員向け「コープデリでんき」事業も行っています。宅配のトラックなど、電気自動車への切り替えを検討するなどCO²削減への取り組みをすすめます。

フードバンクとの協力のほか「もったいない」をもとに考えます

貧困問題ともかかわる取り組みで、「未使用文房具寄付キャンペーン」を継続して行っています。集まった未使用文具は、NPO法人フードバンク信州などを通じて、必要とする家庭に届けています。

長野県をはじめ、県内の各市町村との協定を結んでいます

コープながのは、「災害時における応急生活支援物資供給に関する協定」「高齢者等見守り協定」等の協定について長野県をはじめ県内の市町村と締結しています。

SDGsに準拠し、持続可能な社会を目指します。SDGsを周知する取り組みに積極的に参加しています。

コープながのはコープデリグループとともに「ビジョン2025」の取り組みを通してSDGsの達成に貢献します。長野県SDGs推進企業への登録、NAGANO SDGs PROJECTへの協賛など、さまざまな場面で協力しています。

宅配の利点を生かし、地域の見守り活動を実施しています

毎週同じお宅に配達に行くコープの宅配は、「いつも出てきてくれる方が出てこない」「ちょっと様子が違う」といった時のお声かけから、道で困っている人にお声をかけるなどの行動をします。

使い捨てプラスチックを減らすための取り組みとリサイクルをすすめます

できるだけ使い捨てプラスチックを使わないことや、使い捨てにせず繰り返し使う、使ったプラスチックはリサイクルに回す消費行動を、組合員に呼びかけています。コープ商品包材の仕様も見直し、ノントレー商品やラベルのない飲料容器の開発に取り組んでいます。

組合員どうしの助け合い活動「まごころ」を推進しています

地域で「そのとき、その人にできないこと」を「そのとき、その人ができるサポート」をする組合員どうしの助け合いのシステムです。そのほか「くらしの困りごと総合窓口」を設置し、組合員だけではなく地域の方々の「困った」の解決のため、適切な先へつなぎます。

交通安全教室開催に協力しています

地域の保育園などに協力し、コープデリの交通安全教室を開催しています。横断歩道の渡り方の練習やトラックからの死角、チャイルドシート着用の必要性など幼児にもわかるようにプログラムを構成しています。

